

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) リンテックス株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8006 岡山県倉敷市連島町鶴新田2670番地	
本票作成	部署名：生産部 生産技術グループ				
主たる業種	分類コード	3	2	業種名：その他の製造業	
事業の概要	当社は自動車用車輪、農業用車輪、産業車輛用車輪を製造をおこなっており、製造拠点は岡山と群馬の2カ所、営業拠点は東京と大阪の2カ所である。 岡山工場 生産量480万個/年、従業員数277名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社・岡山工場		岡山県倉敷市連島町鶴新田2670番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 4.8 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)			目標年度 (平成26年度)					
	9,460 t CO ₂			9,006 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量					
	①	本社・岡山工場		9,460 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産数量		基準年度	目標年度
			1.88	1.79
		kg CO ₂ / (個)	kg CO ₂ / (個)	

(該当事業のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

生産性向上「プロジェクト」活動推進により生産性の向上と設備改善・更新等によるエネルギー効率の向上等により、省エネ法に基づくエネルギー消費原単位で年平均1%以上の低減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・当社では2002年8月ISO14001認証取得。
- ・環境マネジメントプログラムによる二酸化炭素排出量削減活動を推進する。
- ・省エネルギー推進組織を構成し、省エネ部会メンバーにて改善計画・対策方法を検討する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
本社・岡山工場	活動期間2005年度～2009年度 効果：エネルギー消費原単位で2005年度基準比15%削減 実施内容 1、電力使用量の削減 ・生産効率向上による電力原単位改善。 ・エア漏れ対策やコンプレッサのインバータ化。 ・変圧器トランザンタ機器への更新等。 2、LPガス使用量の削減 ・蒸気漏れ点検・修理、保温見直し。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容																					
本社・岡山工場	<table border="0"> <tr> <td>1、ボイラー更新</td> <td>平成23年～平成24年</td> <td>効果：原油換算9kl</td> </tr> <tr> <td>2、高効率電動機の採用</td> <td>平成22年～平成25年</td> <td>効果：原油換算5kl</td> </tr> <tr> <td>3、照明設備の更新</td> <td>平成23年～平成25年</td> <td>効果：原油換算6kl</td> </tr> <tr> <td>4、冷却ポンプインバータ化</td> <td>平成23年～平成25年</td> <td>効果：原油換算15kl</td> </tr> <tr> <td>5、空気圧縮機インバータ化</td> <td>平成23年～平成24年</td> <td>効果：原油換算32kl</td> </tr> <tr> <td>6、冷却ポンプモーター化</td> <td>平成22年～平成25年</td> <td>効果：原油換算7kl</td> </tr> <tr> <td>7、天然ガスへの転換</td> <td>平成23年～平成25年</td> <td>効果：2007年度基準比11%削減</td> </tr> </table>	1、ボイラー更新	平成23年～平成24年	効果：原油換算9kl	2、高効率電動機の採用	平成22年～平成25年	効果：原油換算5kl	3、照明設備の更新	平成23年～平成25年	効果：原油換算6kl	4、冷却ポンプインバータ化	平成23年～平成25年	効果：原油換算15kl	5、空気圧縮機インバータ化	平成23年～平成24年	効果：原油換算32kl	6、冷却ポンプモーター化	平成22年～平成25年	効果：原油換算7kl	7、天然ガスへの転換	平成23年～平成25年	効果：2007年度基準比11%削減
1、ボイラー更新	平成23年～平成24年	効果：原油換算9kl																				
2、高効率電動機の採用	平成22年～平成25年	効果：原油換算5kl																				
3、照明設備の更新	平成23年～平成25年	効果：原油換算6kl																				
4、冷却ポンプインバータ化	平成23年～平成25年	効果：原油換算15kl																				
5、空気圧縮機インバータ化	平成23年～平成24年	効果：原油換算32kl																				
6、冷却ポンプモーター化	平成22年～平成25年	効果：原油換算7kl																				
7、天然ガスへの転換	平成23年～平成25年	効果：2007年度基準比11%削減																				

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

*ホイールの軽量化を図る事による環境影響を評価し、環境に配慮したホイールの提供に努めています。
*毎年、夏季（7～9月）3ヵ月間に電力需給の安定と電力供給設備の効率的利用の為、電力会社とピーク時間調整契約を締結しています。